

2026年6月15日

Transcend Therapeutics 社の買収完了について

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:井上 眞、以下「大塚製薬」)は、100%子会社である大塚アメリカ Inc.による Transcend Therapeutics, Inc. (本社:米国ニューヨーク州、CEO:Blake Mandell、以下「トランセンド社」)の買収が完了し、トランセンド社が同社の完全子会社となりましたことをお知らせします。本年3月に締結した合意内容に基づき、大塚製薬はトランセンド社の全発行済み株式の取得対価として、同社株主に対し総額 700 百万米ドルを支払いました。今後、条件付対価として、開発品の売上高に応じて最大 525 百万米ドルを追加で支払う可能性があります。

トランセンド社は 2021 年に設立された、精神・神経疾患に対する迅速作用型治療薬の開発を進めるバイオテクノロジー企業です。同社が開発する「TSND-201」は、メチロン(methylone)を有効成分とする迅速作用型のニューロプラストゲン(脳内ニューロンの神経可塑性を誘導する化合物)であり、PTSDなどを対象とした治療薬候補として開発が進められています。米国では心的外傷後ストレス障害(PTSD)の年間有病者数が 1,300 万人以上に上ると推計されている一方で¹、過去約 25 年間にわたり新たな治療薬は承認されておらず、大きなアンメットニーズが依然として存在しています。TSND-201 は、PTSDを有する成人を対象としたフェーズ 2 試験「[IMPACT-1](#)」において良好な成績を示し、その結果は 2026 年 2 月に「[JAMA Psychiatry](#)」に掲載されました²。現在、本剤の安全性および有効性を評価する 1 本目のフェーズ 3 試験「[EMPOWER-1](#)」が米国で実施されており、試験完了は 2027 年末を予定しています。

TSND-201 は 2025 年 7 月に米国食品医薬品局(FDA)よりブレイクスルーセラピー指定を取得しています。さらに 2026 年 4 月には、トランセンド社は本剤に関して、FDA が交付する Commissioner's National Priority Voucher(国家優先バウチャー)を受領しました。国家優先バウチャーは、FDA の厳格な科学のおよび規制基準を維持しつつ、米国の重要な国家的健康優先事項に合致する製品の承認を迅速化することを目的としています。

大塚製薬は、トランセンド社を当社グループに迎えることで、精神・神経領域におけるグローバルリーダーとしてポートフォリオの拡充を一層加速します。長年にわたり培ってきた当社の強みとトランセンド社の革新的アプローチを融合し、規制当局と緊密に連携しながら、PTSD を含む次世代治療薬の開発を着実に進め、新たな治療選択肢を患者さんにお届けできるよう努めてまいります。

Transcend Therapeutics 社について

Transcend Therapeutics(トランセンド社)は 2021 年に設立された、臨床開発段階にある神経科学領域の企業で、精神・神経疾患に対する迅速作用型治療薬の開発を進めています。既存の精神科治療薬が十分に効果を示さなかった数百万の患者に、新たな治療薬を届けることを使命としています。

詳細は www.transcendtherapeutics.com をご覧ください。

大塚製薬株式会社について

大塚製薬は、一人ひとりの可能性に向き合うトータルヘルスケアカンパニーです。"Otsuka-people creating new products for better health worldwide"の企業理念のもと、未充足の医療ニーズに新たな価値を提供する医療関連事業と、科学的根拠をもった独創的な製品やサービスにより日々の健康維持・増進をサポートするニュートラシューティカルズ関連事業を通じて、人々のウェルビーイングの実現に向けて取り組んでいます。詳細はコーポレートサイト www.otsuka.co.jp をご覧ください。

1. U.S. Department of Veteran Affairs. PTSD: National Center for PTSD.

https://www.ptsd.va.gov/understand/common/common_adults.asp

2. Jones et al., 2026, "Efficacy and safety of the neuroplastogen TSND-201 for the treatment of PTSD: A randomized clinical trial." *JAMA Psychiatry*. doi:10.1001/jamapsychiatry.2025.4625